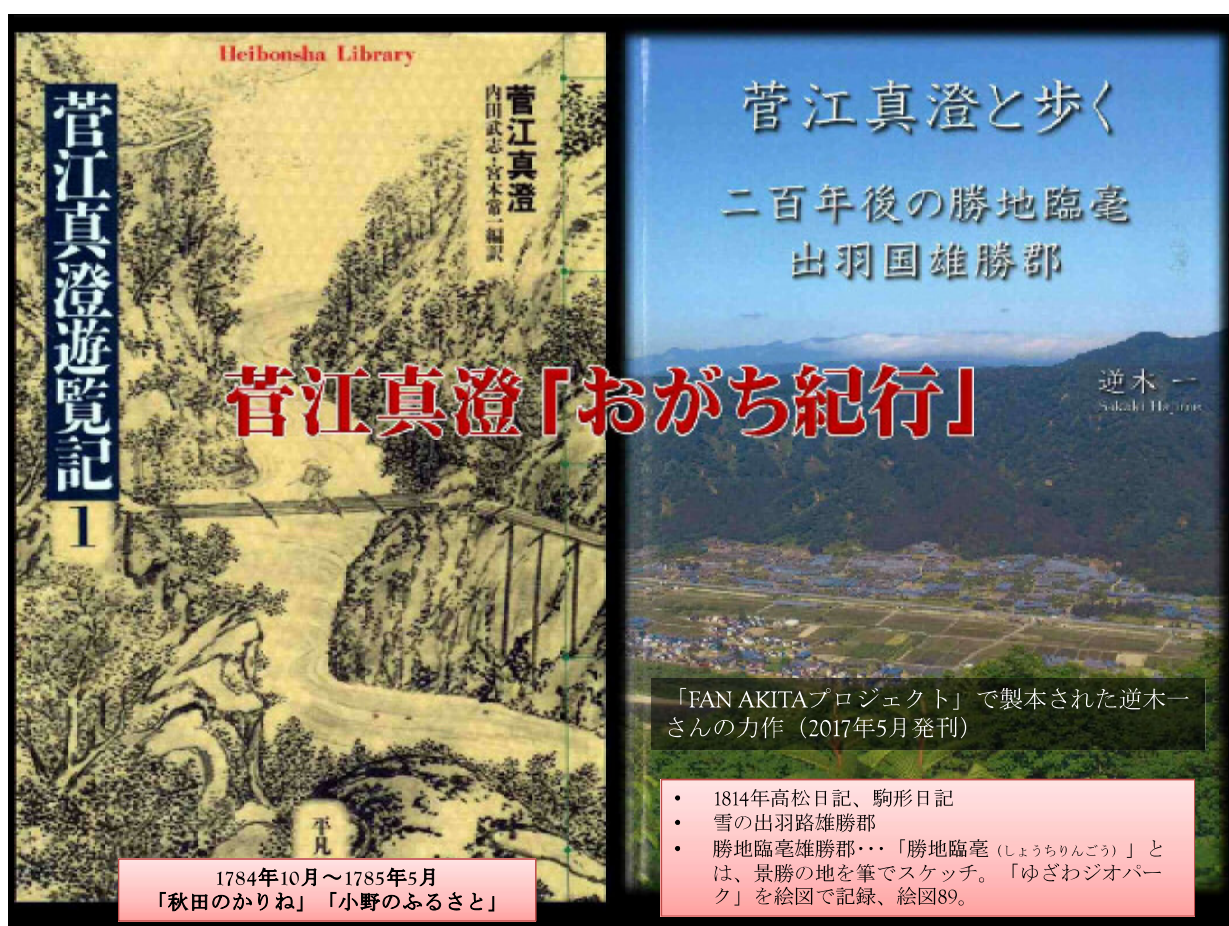
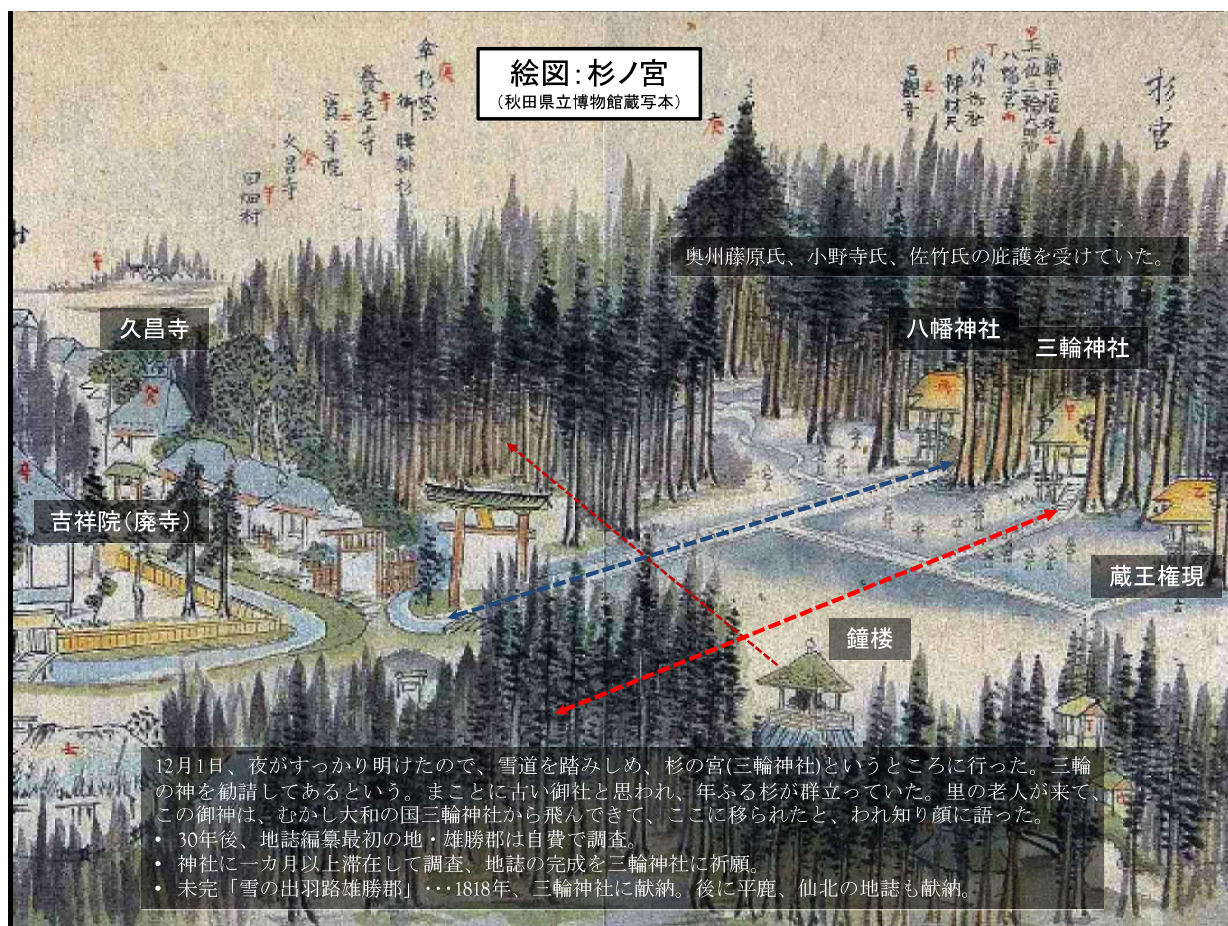




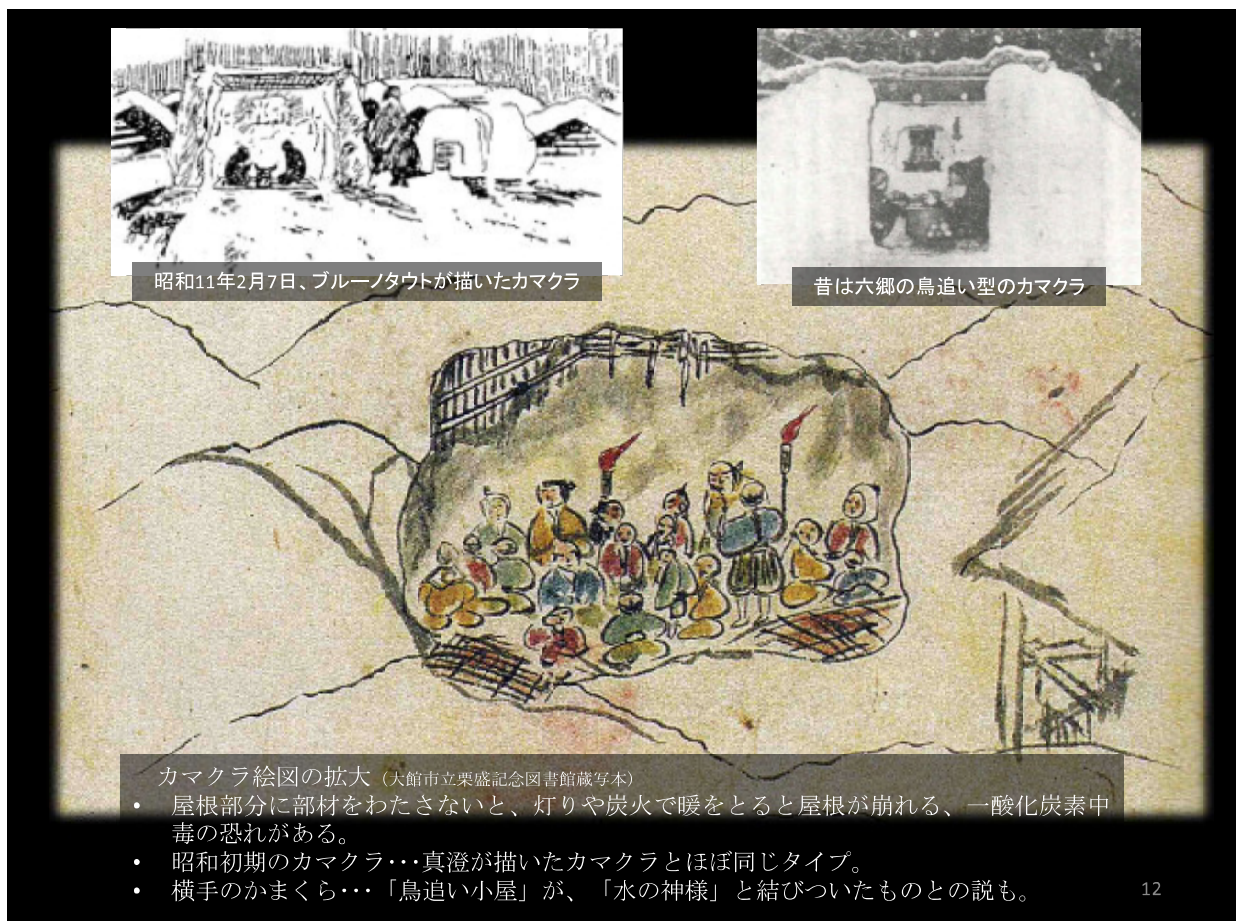


5













豆ガラとワラを束ねて稲の苗になぞらえる。

雪中田植え

古くから庭先に稲わらを植え、田の神様に五穀豊穡を祈願したのが原形。稲川町では、雪の上にその年の豊作を祈念して豆ガラとワラで田植えを行った。これは稲穂が、大豆のように米粒が大きくなるようにとの願いがあった。



カタユキの頃 堆肥運び

3月15日、湯沢・・・ウマノツラというものをきて、ケラミノをつけ、ソリをひいて行く男たちが大勢、自分の田畑のあるあたりを雪の上からおしはかりながら、農作物のための堆肥を持ち運ぶのを遠くから見ていると、遥かな海上を舟で行くかのように見える。このようなただ白銀の山、白銀の道の風情を、故郷の人とともに見ることができたならと思いつつ、湯沢に着いた。(写真：写真集「米づくりの村」井上一郎著)